

社会・地域とのかかわり

ムラタでは、「そこにムラタがあることがその地域の喜びであり誇りでありたい」と考え、より良い社会づくりへの貢献を目指して企業市民活動に取り組んでいます。

地域社会活動

緑化活動

ムラタでは、約30年前から、緑豊かな地球を目指して積極的に緑化活動に取り組んでいます。本社ビルでは、屋上緑化や敷地内緑化を行っています。また各事業所においては、「地域と共生する緑豊かな工場」をスローガンに、各都道府県、市町村の花木、樹木と自然林に育つ樹木を中心に植栽を進めており、毎年、地域の方に開放して、桜などの見学会を実施しています。

地域の小学生への電子部品学習会

2004年8月、村田製作所の本社(現長岡事業所)において地域の小学生を招いて電子部品の説明会を開催しました。これは、子どもたちに、科学に対する興味を持ってもらうための取り組みで、当社の主要部品であるコンデンサをはじめとする電子部品が日常生活の中でどのように使われているのかを技術担当元社員が解説しました。



本社屋上庭園



電子部品の学習会

学術支援活動

村田学術振興財団

ムラタでは、企業活動において蓄積してきたものを、学術振興を通じて少しでも社会に役立てたいと考え、1985年2月、「村田学術振興財団」を設立しました。毎年、自然科学・人文・社会科学分野の研究への助成活動を行っています。2004年度の助成件数は、研究助成が48件、研究会助成が11件、海外派遣援助が3件でした。

寄付・寄贈

自然災害被災者への救援金の寄付

2004年度は多くの自然災害が発生しました。被災地域の復旧支援に向け、ムラタは日本赤十字社や行政を通して救援金の寄付を行いました。

DATA 災害義援金の一覧

若葉カップへの協賛

ムラタでは、1992年の第7回大会から、本社、事業所のある長岡京市で行われる全国小学生バドミントン大会「若葉カップ」への協賛を行っています。

MYU-TOWN活動

野洲事業所では、MYU-TOWN活動(Murata Yasu United-Town活動)と称して、地域活動を実施しています。チャリティバザーの収益金により、2004年度は7台の車椅子を老人ホームに寄贈しました。

献血活動への協力

ムラタでは、毎年各事業所で日本赤十字社が実施する献血活動に積極的に協力しています。国内の主な主事業所での2004年度の献血協力者数は2,088名でした。



ムラタエレクトロニクスタイランドより、スマトラ島沖地震災害に対しタイ赤十字本部に義援金を寄付
(右)マー・チャクリ・シリントン王女



全国小学生バドミントン大会「若葉カップ」